

日刊 一 發行所 編輯人 川崎文治 本社内（電話六三〇番）印刷所 常磐毎日印刷所

定 一部金貳圓 廣 五號十三 休 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三番
 價 一月五十錢 料 字詰一行 刊 日 發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
 郵 五十五錢 料 五十五錢 日 刊 日 發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番

刊 夕 日 四 廿 月 五

寄書

世界の三大強國

大和出豊吉

○第二は亞米利加が大陸に存する大小の諸國は是に對向して内アメリカを包含する亞利加合衆國を作るだらうとして居る。亞細亞は日本を中心とする亞細亞聯邦を組織して頼て亞米利加合衆國及歐洲合衆國に對して第三に日本合衆國にやるであらうと云つた。是は小説家の發案である。とて尤より本氣で言つたのでは無いと無難作に形付けて仕舞ふ事は出来ない。論より證據事實はそうなり

つゝあるのである、勿論全亞米利加聯盟と全細亞聯邦とが出現しなければ此ウエルヌの豫言は物にならな。いが第一の歐羅巴合衆國だけは百年を待たずしてすでにその形勢は實際に動き始めて居るから、馬鹿になら。ない、即ち佛國外相ブリアン氏が今回發表した歐羅巴合衆國に對する覺書はそれだ。

（ブリアン外相の歐州聯盟に對する覺書は五月十七日をして歐羅巴一十七ヶ國の政府に交附されたが此案の大要は先づ歐羅巴各國の間に道徳的の盟約を締結し、次に經濟的の組織と統制とを圖つて歐羅巴全體としての共存共榮を實現すると云ふ案である。是、誠に面白い

常磐文藝

（童謡） 犬ころ

あかい花 散るかげで
 ちんころ いぬころ
 泣いてます
 あかいなみだを
 ほろほろと

あをい花 散るかげで
 ちんころ いぬころ
 泣いてます
 あをいなみだを
 ほろほろと

あをい花 散るかげで
 ちんころ いぬころ
 泣いてます
 あをいなみだを
 ほろほろと

確 實 住 友 生 命 親 切

花は櫻保險は住友
 受しき...の...に
 子女の教育結婚の爲めに
 老を樂しむ...の...に
 老を樂しむ...の...に
 老を樂しむ...の...に

住友生命保險株式會社
 平事務所 福島 寛利
 平代理店 金成泉一 郎
 電話七〇四番

電話特別開通受付開始

一、受付期間 五月廿六日より
 六月五日まで
 一、設備費 金四三〇圓
 （外に加入登記料金五圓）
 一、受付場所 當局窓口
 一、詳細は窓口又は電話第四〇〇番へ御
 問合せ下さい

平郵便局

眼に 青葉

食通の好季節
 初夏の内容完備しました

初夏の内容完備しました

初夏の内容完備しました

初夏の内容完備しました

江戸前料理 會堂

あわびの料理 始めました
 初夏の鳥料理 始めました
 ぜし一度御試食下さい

出前迅速 錦水
 田町末廣東隣り（電八〇三番）

初夏...サロンの新装

店内に新緑の氣分を集め、皆様への御期待に添ふ
 アイスクリューム（十五錢）
 ドウゾ御用命を.....

田町 サロン
 電話三五二番
 （サロンの公休日は毎月第三日曜）

國産精工舎製

腕時計 セイコー
 提時計 エンバイヤ
 平町五丁目

特約店 金光堂時計店
 電話三七六番

既往五ヶ年の火災に 三十七萬圓を灰燼よ

平署管内の統計
無火災は四ヶ町村ある

大正十五年より本月現在まで
に於ける平署管内に起きた火災の
度数は八十四回で此の損害高計六
萬八千六百七十三圓に達してあるが
之を年度別に見れば

大正十五年	度數	損害高
昭和二年	二五	五、八七
昭和三年	二一	六、四九
昭和四年	一四	七、九二
	一七	三、三〇

滞納整理が出来ねば 止むなく諸給料未拂

四五兩月は税収が少く
各町村共四苦八苦

石城郡内各町村共四五兩月は年々
税収が極めて少いにも拘らず前年度
の仕拂分等一切を済ませねばなら
ないその苦勞は一通りでない辛ふ
じて切抜け得らるゝは全く優良な
處で或は一時借入をなし若くは嚴
重な滞納整理で過してゐるがそれ
も不可能な場合は諸給料の未拂を
なさねばならぬなど不況の深刻化
に伴ひ悲劇は各所に醸成されてゐる

桑の洪水

春蠶は良好
石城郡内の春蠶は小川村地方既に
三眠に達し桑葉は何

天候順調で
元いはらき新聞中支局長とし名
敏な手腕を發揮し同社營業部長に
榮轉其後常務取締役を兼ね新
聞界に雄名を走せた宮田三朗氏
は一昨年同社辭職後暫く静養中
の處今同東京市京橋區北橋町に
在る株式會社婦人毎日

新聞社取締役營業局長に就任した
再び新聞人として返り咲きた、
同氏今後の活躍振りこを見もの
であらう因に假寓を一先府下大井
町水神下二一〇番地に定めた

一部の選手にのみ 運動を独占させぬ

警女校では毎月五六回宛
全生徒に各種競技

縣立警城高等女學校では運動が
競技化し其の目的を閑却さるゝ
を憂ひ来る六月五日より毎月五
六回宛全生徒に對し運動を行ふ
が種目は排球、庭球、籠球、弓道、
ビンポン等である右に就き木村
校長は語る、一運動の目的は體を
練り精神の向上を計るにあるので
之れを一部の選手にのみ獨占させ
る事は却つて運動趣旨に反する
所以である要するに運動は廣く
しば正しく行ふことにより其の
目的を達し得らるゝものである

勿來坑朝鮮長屋 今曉七十戸焼失

此の世ながらの地獄を
思はする慘狀を呈す

本日午前一時頃石城郡勿來坑
町大字酒井字出倉大日本炭礦
勿來坑朝鮮長屋第五十二號より
發火し折柄の強風に煽られて火の
粉飛散し見るに八方に燃え廣
かり五十餘戸を焼き拂つて午前
二時より五十七號まで六棟
七十七戸を焼き拂つたが住むに
時やつと鎮火したが住むに家
なき被難民約百五十名は右往
左往し全く阿鼻叫喚此の世な
がらの地獄を思はする慘狀を呈
した同炭礦では

縣會議長 今曉三時遂に

(福島電話)本縣港縣會議長は
遂に病氣療養中の處本日午前
三時遂に長逝した

腸チフス 生

平町三丁目四幡波タケ(三〇)は
胃腸疾患の爲め過日より共濟
病院に入院してゐたが病狀に怪
しき點ある處より嚴重診察の結
果昨日午後腸チフスと判明本日
隔離した

先妻の七年忌に 後妻の鐵道自殺

然も同一の場所

石城郡赤井村字三島農一郎次
内縁の妻松本キキ(三三)は昨夜
夫一郎次とはげしく口論して激
怒の餘り家出し小川郷附近の警
越東線に飛び込み折柄強風吹いて
二〇二號列車に轢殺された死體は
本日檢死の上夫一郎次に引渡さ
れた尚ほ同人の先妻キキも今から
七年前同一の場所鐵道自殺を遂
げた

鯨が出廻り 各濱が活況

大數網も開始
鯨漁調査の警城丸航海による報
告では魚群薄きところ多き模様
であつたが一般に餌付は良好で
四五百斤の鯨約千尾三四貫大のメ
バチ、トンボ約百尾釣獲したに
すぎないが他の漁船は相當好漁
を得てをたつたとよつて石城地
方市場には鯨がならぶに至り各
濱の大數網等も開始したのでい
よゝ活況を呈するに至つた

電話線切斷

何者にか盗る
石城郡好間村大字叶田地内の電
話線約百間(價格十二圓)が何者
にか切斷窃取された事本朝發見
平署では目下犯人捜査中

平町人率

出生
△紺屋町四加藤一氏五男
△三丁目一八加藤マド(三八)秋
田市長野下新町南一九船員西野
要吉氏(三九)

平局の交換嬢が 仙台へ乗り出す

共電式の實際を修得に

常磐片々

警女校で運動を獨占させぬ
方針は可、學業の成績も獨占
させぬ様願ひたい

墮胎に懲役

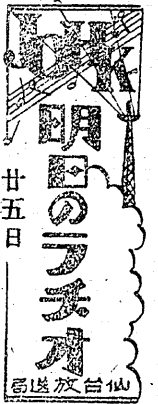
既報石城郡好間村小出炭礦撰
炭婦中野ツヤ(三三)假名並に同
人母キキ(三三)に係る墮胎同
教唆事件は本日午前十一時より
平區裁判所に於て公判に附され
たが武田判事より兩名共懲役四
ヶ月(但し刑の執行猶豫)の判決
言渡があつた

酒肴料下賜

平町で二名
日露戰役二十五週年に際し同
戰役に出征し負傷した軍人に對
し陸軍より酒肴料を賜はる等
であるが平町では

募集

文藝其他投稿を募集します



明日のラヂオ 廿五日 報豫氣天 今晩も明日も北 東の風曇つたり 晴れたり

- △前九〇〇 氣象通報
△前九三〇 お話「廣瀬中佐」小野清一
△前一〇〇〇 修養講座「嗜みの生活」河野省三
△前一〇五〇 榮養料地「鱈の磯揚げ」榮養研究所
△前一一〇〇 連續國際講座「國際聯盟と國際法」法學博士神川彦松
△止午 第九回極東選手權競技大會狀況(明治神宮外苑競技場より中継)
△後三三〇 經濟市況
△後三三〇 氣象通報
△後四〇〇 角力中継(東京大角力夏場所(千秋樂)兒童劇「楠」)

ラヂオ風景... 一九三〇年新風景 小堀誠他新派劇男女優 (小野賢一 郎作)

(第一景) 九の内新聞社の朝
ある新聞社の編輯局の一室である朝早くの静けさ...
(第二景) 多摩川
多摩川へ着いて新緑の美しさに狂喜した春山は伯父さんと浪子をモデルにして新聞の寫真班のスナップを撮る...

皮肉をいふ。
(第三景) 丸の内
丸の内の雑踏、突然自動車がバンクする。それをピストルかと思つて伯父さんは飛び上る。自動車時代のアスファルトを横切つてエレベーターに乗る、伯父さんはこのエレベーターの前で又珍談を一つ製造する
(第四景) ある會社の事務室
伯父さんの同村の娘友子は浪子の友人なので、それを訪ねに来たのである、友子は断髪に入れ毛をして、ひどく綺麗にメイクアップしてゐるのでたまげる。正夫は職業常識で流行の先端をさる友子の一九三〇年流行界の高説を聞く伯父さんは時々隣村へ聞える位の大聲で冗舌りたてるので正夫も浪子も時々恐縮する伯父さんは流行は循環して十年前の買つたこの洋傘がいまの時代の先端をさるぞといつて大見得をきる
(第五景) 屋上展望
ビルディングの屋上へ上つて復興の帝都を眺める、伯父さんは皇居に向つて土下座をする、友子と浪子と止まはそれ、伯父さんに話しかける、伯父さんは一派の哲學を語つては皆を笑はせる、そして水の哲學を説く
(第六景) 美容院
正夫は浪子をさそつて美容院へつれて来る、そして伯父さんをひつぱつて銀ぶらへゆく、美容院では美容法についていろいろ話ながら浪子の頭が出来てる、この時は外國人が値段のことで文句をいふ
(第七景) デパート
伯父さんを案内してデパートへ来た、正夫と浪子はまづ浪子の洋傘を買ふ。店員は洋傘についてさまざまの流行を語る。此處でも伯父さんは警句を吐いて皆を笑はせる。結局浪子は氣に入つたものを買つてもらふ、それから正夫は蓑藁の帽子を買ひ、伯父さんの懐中をねらつて夏服を注文する、浪子と正夫の伯父さん口説きのチームワークは成功する
(第八景) 小料理屋
腹が空いたので小料理屋へ入る、二階の日本座敷へ座つておぢさんは生きかへたやうになり、そら豆を注文する、その他いろいろ料理の通を冗舌るので浪子と正夫は又恐縮する、この家の女中さんが又中々論客でおぢさんは末々の女代議士だといつて感心する
(第九景) 夜店
新宿近くの夜店——干物ハサミ下駄の鼻緒スゲかへ、苗商人、水枕、金魚屋、正夫はメダカを買ふ。とすぐ側で女の電球賣がお客をつかまへてケンクワをはじめ、仲裁にバナ、やがるおぢさんも浪子も正夫も女の夜店進出について勇敢な

生活線上に働いてゆく婦人のことを感心する、そして昔の宿場がカフェーの世界に變つたといふ
(第十景) 郊外の家
一日方々歩いて家へ歸つて来る、とおぢさんの金時計が失い、よくしらべて見ると正夫のポケットにある、間抜けたスリだといつて笑いなから新聞をみると、正夫の勤めてゐる新聞には多摩川の鮎釣りの寫真が出てゐる、もう一つの新聞の夕刊には蓑藁の止まとバラソルと美容とを調べた浪子とおぢさんの山高帽の三人づれの街路の寫真が出てゐる、その見出しに「一九三〇年新風景」とある。このラヂオ風景は新緑の東京と郊外と題材にし、おぢさんとモダンガールのこの娘時代の先驅に生活しようとする甥の春山正夫との會話、——皮肉あり、ナンセンスあり、實用記事ありといつた風な色どりである、作者は東京日日新聞社會部長で之の各方面の博識は既に定評ある人で演劇の方でも昨秋「奥村五百子」の上演を帝劇したことがあり論説に隨筆にゆくとしてゆかざるなくラヂオ風景としての作は處女作である

榮養料理
アヂの磯揚げ
榮養研究所發表
材料(一人前)アヂ約一三三 三匁 青海苔少々 メリ

創業廣告
今般時代の趨勢に鑑み合資會社高橋商會を創業いたし方記營業種目に依り親切第一主義を以て營業致す事と相成り候間何卒御利用御用の命御程願申上候
營業 燃料、木材
金融、仲立
種目
合資會社 高橋商會
代表者 高橋龜松

一九三〇年式の浴衣御案内
粹で！高尚で！現代的な！
婦人俱樂部浴衣 昭和調婦女界ゆかた
リーグ戦ゆかた 繪羽模様構成浴衣
外十數種豊富に取揃へて
陳列致してあります
洋傘と本セルの特賣
三井吳服店

ケン粉約二・七匁 ラーイ
ド約三・二匁 大根約五・
三匁 生姜約二・七匁
鹽、味淋、(以上にて蛋白
質一、七、カロリー二
三〇)
▽調理法 鱈は三枚に卸し
て置きます、メリケン粉を
少量の水で青海苔を振りか
け、鹽、味淋で味を付けて
前の鱈の衣にして煮立つた
油で揚げます。大根は繊切
にして軽く鹽もみして生姜
の卸したものと一緒に付合
せにします

漏れなく責任配布 〇チラシは百枚に付十五銭

セメント
壁用材料
コールター
ペンキ塗料
板ガラス

警城セメント株式会社
代理店 西村屋薬舗
平町二丁目(電三)

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平町南町(舊診療所向)電話一七〇番

大和田醫院

警城セメント會社特約店

釜屋商店

警城平町五丁目 電話九番 一三九番

▽良品廉賣、勝る商畧なし△
▽確實敏捷は釜屋の生命なり△

耳鼻咽喉科専門

場所 (舊診療所裏通り)

合津醫院

平町仲田町(電話五九九)

移轉廣告

外科

性病科
×光線科

平町田町(赤心堂病院跡)

安齊外科醫院

電話四七五番

夏の學生服

當店特製の霜降
小倉服が豊富に
取揃ひました
是非御用命の程を

小學用 60錢ヨリ
同極上1區10錢ヨリ
中學用2圓15錢ヨリ

平二 なかや洋服店 電203

軽快で便利な

小學生用..... 65錢ヨリ
同極上.....1.00錢ヨリ
中學生用.....1.90錢ヨリ
女生服.....1.20錢ヨリ
兒童服.....1.00錢ヨリ

其の他色々豊富に
取揃へてあります
夏帽子
夏襪
夏靴

霜降小倉學生服の特價提供

5丁目 モリタヤへ 電353

中殿子舞 産土平
すま致參持品本見ずら拘に少多
下園公岡ヶ松
大鶴屋藥店
番四〇七話電

喫茶部新設

各種 体言
藥液計 調内藥局
電話二〇番

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
痢疾 腸虫病 十二指腸
門專
院醫科 腸病 胃性 村松
(七〇一話電南平)

美味の 田町
評判の **イサキザン**
電話三五二番

警城炭礦 最優等炭
◎石炭 一正味 十貫目
東京瓦斯コークス一等品
◎コークス 一俵 金一圓二十錢
本炭代用、無煙無臭、家庭用炭
◎玉炭 一箱 金貳圓也
石炭は日方の正確を期する爲め正味な貫目を
一俵の標準と定めました
◇配達迅速 (電話二二七番)
警城炭礦販賣總代理店
阿部石炭商店

端午 節句の御用意
「五月外のぼり」や「ぬの鯉」
夫れに「武者人形」と「座敷のぼり」
着荷如山
例年に依つて大勉強!!
スガノヤ提灯店
平町四丁目(電七二二)

東京久月の
▼武者人形
▼御座敷のぼり
東京久月製造元 出張所
平町三丁目

特價 五月人形
賣出 お座敷のぼり
ぬの鯉
平三丁目 **金太郎玩具店**